

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966



<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!

2021年2月1日号 Vol. 91

五重塔(撮影/中村誠)



毎月19日は 「食育の日」

減塩について楽しく学べる展示会を開催しますので、ぜひお越しください。

日時：2月19日(金) 9:30~15:30

場所：白石地域交流センター1階ホール

内容：子供の頃から、味の好みが強くなりすぎていませんか？ 減塩できる食事とポイントを展示しています。毎日の食事にプラス1皿の野菜を食べることから始めてみましょう。

※当日、レシピ・資料をお配りします。

食育の日行事を開催しました……

1月19日(火)、食生活改善推進協議会のヘルスマイトの皆さんが地域交流センターのロビーにおいて、「山口の郷土料理」のテーマでフードモデルを展示しました。来所された皆さんに山口の郷土料理を説明し、レシピを配布しました。

たくさんある山口の郷土料理の中から、「岩国寿司」のレシピをご紹介します。

ぜひ、ご家庭でも作ってみてください。



発災実動訓練実施 のお知らせ

令和3年3月7日(日)午前8:00~11:00、7町内会(荒高、上清水、中讃井、西門前・新橋、新道、早間田、米屋町)が合同で「大原湖断層を震源とした地震が発生、山口市にも大きな被害がもたらされている」という想定で訓練を実施します。ご理解とご協力をお願い致します。

11:00~13:00

1. 起震車で地震体験
2. 非常食試食会



食推だよりその40
減塩レシピ作ってませんか?
~減塩推進事業~

岩国寿司

【材料】	(4人分)	【作り方】
米	5合	①米は洗ってざるに上げ、同量か1割増しの水で炊く。 ②干しいたけは水でもどしてから千切り、れんこんは薄切りにしたものを醤油、砂糖で甘辛く煮付ける。卵は錦糸卵に、春菊は洗って水切りをして、適当に切る。 ③ごはんを桶に移し、合わせ酢を入れなじませる。木杵を酢でしめらせ、はらんの木杵の大きさに切りそろえる。 ④木杵にはらんの表を上にして敷き、適当な厚さにすし飯をのせ、平らになるように軽く押しやる。その上に具をちらし、はらん、すし飯、具をのせる。 これを3~5回繰り返す、最後のはらんは裏側を上にする。上から押して、木杵を取り食べやすい大きさに切って、盛り付ける。
干しいたけ	5枚	
れんこん	100g	
卵	1.5個	
春菊	少々	
でんぶ	10g	
はらん	適量	
合わせ酢		
酢	90ml	
砂糖	75g	
塩	大さじ1	
化学調味料	適量	
酒	大さじ1	



木杵は牛乳パックやケーキ型を利用しても♪

訂正とお詫び

1月1日号の「新年の挨拶」におきまして、「昨年11月に第3次地域づくり計画策定委員会を設置」としておりましたが、正しくは「一昨年11月に第3次地域づくり計画策定委員会設置」となります。訂正してお詫び致します。申し訳ございません。

第3次(令和3年度～令和7年度) 白石地区地域づくり5ヵ年計画が決定しました

1月7日(木)令和2年度白石地区地域づくり協議会第4回理事会において、第3次地域づくり計画策定委員会西川宜宏委員長から白石地区地域づくり協議会内山清輝会長へ「第3次地域づくり計画」(案)の答申がなされ、内山会長が上程したところ、全会一致で承認され決定しました。



内山清輝会長・西川宜宏委員長

つきましては当該計画の概要について下記の通りお知らせ致します。

計画の期間

令和3年度～令和7年度

計画の基本理念

「みんなでつくる住みよいまち・白石」

～助け合い・支え合い、みんなが安心して住み続けられるまちを目指して～

計画の成果指標

白石を住みやすいと感じた
地域住民の割合

47.3% → 50%

計画の基本方針（現状課題・将来像・成果指標・取組方針）

計画の基本方針				担当部会	事業名
現状課題	将来像	成果指標	取組方針		
地域づくり活動の方向性が共有されておらず、地域活動に参加する地域住民が少ない。	地域課題解決のための方向性を地域住民が共有しており、地域活動が積極的に展開されている。	地域づくり協議会の活動内容の認知度 15.1% → 25%	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の充実により、地域づくり協議会の取組み等、認知度の向上を図る。 ・地域住民同士の話し合いの機会を設け、地域づくり活動に参加する地域住民の増加を図る。 ・地域づくりに関わる若い人（現役世代）の参加促進、後継者を育成する。 ・会員団体等関係機関との連携の強化を図る。 	総務部会	広報活動
		地域づくりに関する方向性や情報共有度 21.9% → 25%		地域活動への参加率 20.2% → 25%	総務部会
地域住民同士の連帯感や絆が希薄になっている。	地域住民同士の連帯感や絆が深まり、地域活動における協力体制が整っている。地域住民同士が助け合い、支え合える地域になっている。	近所づきあいで日常生活や地域づくりに関する情報交換をしている人の割合 22.7% → 25%	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源等地域財産の活用やお祭りなどの伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間やお年寄り同士など同世代間の地域住民同士の交流を図る。 ※とりわけ、子育て世代を対象とした、親子で参加できる楽しい事業を企画する。 	地域振興部会	「やまぐちえき」応援イベント
		地域で助け合いができていると思う人の割合 12.0% → 20%		地域振興部会	ふるさとまつり参加促進

計画の基本方針				担当部会	事業名
現状課題	将来像	成果指標	取組方針		
日常的に運動に親しむ地域住民が少なく、健康と食に関する意識が低い。高齢者と子ども達の交流の場が少ない。	日常的に運動に親しみ、健康と食に関心のある、心身ともに健康な地域住民が多い。高齢者と子ども達の交流の場づくりが構築されている。	週一回以上運動している人の割合 47.6% → 50%	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントや講習会、健康講座等を開催し、日常的に運動する機会やきっかけを提供する。 ・病気予防（健康維持）に役立つ【食】の提案を行い、地域住民の健康増進を図る。 ・白石小学校等と連携して、高齢者・児童の交流を図る。 	社会体育部会 地域福祉部会	チャレンジ健康づくり
		とても健康だと思ふ人の割合 12.8% → 20%		社会体育部会	グラウンドゴルフ参加促進
		健康意識の向上を図る必要性が高いと思ふ人の割合 14.8% → 20%		地域福祉部会	健康食のおススメ
				地域福祉部会	むかし遊び
環境美化・保全活動に参加している地域住民が少なく、道路や河川などの美化、保全整備が十分されていない箇所がある。	多くの地域住民が環境美化・保全活動に参加しており、地域内の環境が美化、保全整備されている。	環境美化・保全活動に参加している人の割合 37.8% → 50%	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会や白石小・中PTA等関係団体が連携して、山口の中心地としての名にふさわしい環境や景観を保全するために、環境美化活動や景観保護活動を積極的に推進していく。 	総務部会	環境美化・保全活動推進
地域住民の災害に対する危機意識が低く、防災活動に参加している人が少ない。自主防災組織が少なく、自助・共助の態勢が整っていない。	自主防災組織が増加し、多くの地域住民が防災活動に取り組んでいる。災害発生時に自助（自分で自分を守る）、共助（地域の人々が互いに助け合う）の人的態勢が構築されている。	防災活動に参加した人の割合 8.9% → 10%	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講座や発災実動訓練など、防災に関する情報等を提供することで、住民一人ひとりが防災意識・知識を高め、身近に防災活動に参加できるような、人づくり、組織づくりを推進していく。 ・単位町内会における自主防災組織の設立を支援する。 	地域振興部会	自主防災活動参加促進
		自主防災組織設立 2団体 → 7団体		地域振興部会	夏休み防災訓練キャンプ
見通し（視界性）が悪く交通事故等が発生する可能性の高い、危険な箇所がある。児童・生徒の登下校時における安全確保や交通事故防止・防犯活動に参加する地域住民が少ない。	交通事故等発生可能性が高い箇所に、事故防止環境が整備されている。多くの地域住民が積極的に交通事故防止・防犯活動に参加しており、交通事故や犯罪被害が抑止されている。	子ども等、地区住民が関わる交通事故 0件	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所にカーブミラー等反射鏡や危険告知看板を設置する。 ・地域住民が交通安全・防犯活動に積極的に参加する仕組みを整え、安心・安全な地域社会を目指す。 	総務部会	危険防止看板設置
		地域の防犯活動に参加している人の割合 7.5% → 10%		総務部会	反射鏡設置
				地域振興部会	安全パトロール
地域の歴史・文化や史跡・名所をよく知っている地域住民が少なく、歴史文化等に触れる活動に参加している人が少ない。	地域の歴史や文化、史跡・名所をよく知っている地域住民が増加し、歴史文化等に触れる活動に参加している人が多い。白石地域に愛着や誇りを持っている人が多い。	地域の歴史・文化をよく知っている人の割合 2.1% → 10%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の郷土の誇りや郷土愛を育むため、地域固有の歴史や文化、史跡名所を地域住民同士が共有し、保護、保全、継承、掘り起し、PR活動を積極的に推進していく。 	地域振興部会	白石歴史探訪の会
歴史文化にふれる活動に参加している人の割合 6.2% → 20%	住んでいる地域が好き 47.3% → 60%				

第22回

周布久坂伊藤等宿所(萬代利兵衛宅)

皇政復古七十年記念山口史蹟図は、山口県文書館のホームページでご覧になれます。



十朋亭

萬代家の離れ座敷である十朋亭は、江戸時代後期の建築と推定されており、命名は、大坂の儒学者・篠崎小竹によるものといわれています。

文久3年(1863)4月16日以降、藩の政治の中心地は萩から山口へと移転することになりますが、この時、藩は、町屋等を役人の宿泊所に当てました。この十朋亭もそのひとつです。

そして、ここに最初に入ったのが、周布政之助と伝えられていますが、5代当主である萬代利兵衛は、木戸孝允、久坂玄瑞、来島又兵衛、山縣有朋、久留米藩の真木和泉・菊四郎父子、土佐藩の土方久元、津和野藩の福羽美静など、多くの志士たちを擁護したといわれています。



十朋亭(山口市下堅小路)

洋行帰りのふたり

このように、多くの志士たちが出入りしていた十朋亭ですが、利兵衛と特に縁が深かった人物の中に、伊藤博文と井上馨がいました。

元治元年(1864)春、博文と馨は、留学先のロンド

ンで、4カ国連合艦隊が長州藩を攻撃するという知らせを聞き、急ぎよ帰国することになります。

6月10日、横浜に着いたふたりは、英国軍艦バロサ号に搭乗し、姫島(大分県)に到着。その後は漁船を雇い富海(防府市)へと渡り、三田尻を経て山口の十朋亭へと入ったのでした。6月24日のことでした。

翌25日、ふたりは山口政事堂において、外国の実状を報告し、攘夷の無謀なることを説き、「藩論を開国に向けて一変させるべきだ」と強く主張しました。

その後、博文と馨は、十朋亭を宿泊所とし、英国軍艦が停泊する姫島まで止戦交渉に向かうなど、多忙を極めました。

湯飲み茶碗

萬代家には多くの所蔵品があります。その中には、幕末に京都の亀屋旭亭で作られたといわれている、久坂玄瑞の常用湯飲み茶碗があります。

ここには多くの志士たちが訪れていますが、その中でも玄瑞の評判は特に高かったといわれています。

ただひとつ残された、桐の箱に入れられた湯飲み茶碗が、そのことを物語っています。

白石歴史探訪の会

第3回 史跡巡りウォーク開催

参加無料

日時: 2月6日(土) 9:00~12:00 (少雨決行)

集合場所: 白石地域交流センター駐車場

探訪ルート: 交流センター→山口好生堂跡→徳山毛利邸跡→山口御屋形跡(土塁・水濠など見学)→五十鈴御殿(毛利元徳邸)跡→普門寺(大村益次郎)→高杉小忠太(晋作の父)邸跡→山田顕義邸跡→交流センター

案内人: 松前了嗣氏

申込先: 白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)

申込締切: 2月3日(水)

白石歴史探訪の会

第2回 史跡巡りウォークを開催しました

1月16日(土)、小山長昌先生に各所で解説を頂きながら、史跡巡りウォークを開催しました。今回もたくさんの史跡を知ることができました。参加された皆さんありがとうございました。



本誌掲載のイベントは、状況により変更または中止になる場合があります。変更・中止の場合は、白石地区地域づくり協議会フェイスブックにてお知らせします。